

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2021年6月20日



市長の、市民施策切り捨て案に対し、 市民意見を出そう

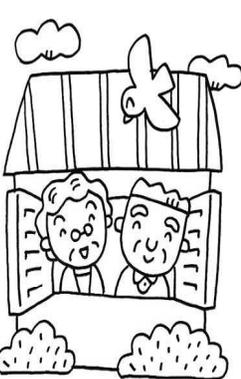
市民を分断するのはやめよ

高額所得市民の市民税を以前の税率に戻せば増収が可能

6月7日、市長が「行財政改革計画案」を発表。「お金がない」と、市民向け施策を大幅に切り捨てる内容です。市民意見の提出を呼びかけます。

6月7日、市長が「行財政改革計画案」を発表。「お金がない」と、市民向け施策を大幅に切り捨てる内容です。市民意見の提出を呼びかけます。

6月7日、市長が「行財政改革計画案」を発表。「お金がない」と、市民向け施策を大幅に切り捨てる内容です。市民意見の提出を呼びかけます。



市長の給料だけで賄うか。市長の給料や退職金は市の収入に、一旦、市の財布に入り、そこから必要な支出に充てられていく。

動物園は、行かない市民にとっても、その存在自体が文化の象徴。保育料は保護者の利益だけでなく、将来の社会全体の利益。敬老乗車証で言えば高齢者の外出や社会活動は文化のバロメーター。施設や制度の利用者だけ

対象者を1/3も追い出す計画!?

=市長の敬老乗車改悪案

市長の「改革案」では、

- ①交付開始年齢の段階的引上げ、
 - ②所得700万円以上の市民を対象外に、
 - ③利用者負担額の引き上げ、
- の三点が予定されています。材料が足らず、概算ですが、井上議員の試算では、ざっと、20億円もの削減、何と、対象者を1/3も追い出す計画ということになりそうです。詳細は改めてご紹介します。

財源についての反論の一端

- ◎「お金がない」の実際について、もっと精査が必要。最悪の場合を考えているからかどうか、今後の、収入を過少に、支出を過大に見積もっているフシがある。
- ◎「財政危機」が本当だとしてもそれは市長の責任で市民には何の責任もない。
- ◎市内高速道路など、無駄な大型事業の反省と総括がない。今になってそのツケが。
- ◎国の法人税減税が市の法人市民税の減収に連動しているのに国に追随。
- ◎国から地方自治体へ来る地方交付税交付金というお金がどんどん減らされているのに、国への要望は全然腰が座らない。
- ◎高額所得者の市民税を所得にふさわしい税率にすれば、もっと増収が可能。
- ◎市の負担の見積もりが全く不明なのに北陸新幹線は「推進!!」一路。
- ◎油小路通りの地下にトンネルバイパスを掘ろうと計画。一体いくらかかる!?
- ◎パソコンをお持ちの方は、党市議団 → 井上けんじの「コラム」や「議会論戦」「議会報告ニュース」の欄などをご覧ください。

●税金や社会保障、一般に財政は、資源配分や所得移転機能等と言われる。狭義の「利益」なるものと負担を対応させようとするのは市場原理の考え方。国民の権利を国家が義務として保障するというのは部門の仕組みという公共次元の話。市場原理を公共に持ち込むものとすることは間違いだ。

○市民分断とのつもりはない。客観的にはそうなの。自治体イジメ政策への批判が必要だ。高額所得者の市民税を以前90億円の増収が得られる話。

市政報告会

「財政改革計画」について
6月25日(金)夕6時半～
(於)唐橋公民館

市民意見は FAX: 222-3283
 郵送の場合は〒604-8571
 中京区市役所行財政局財政室 宛